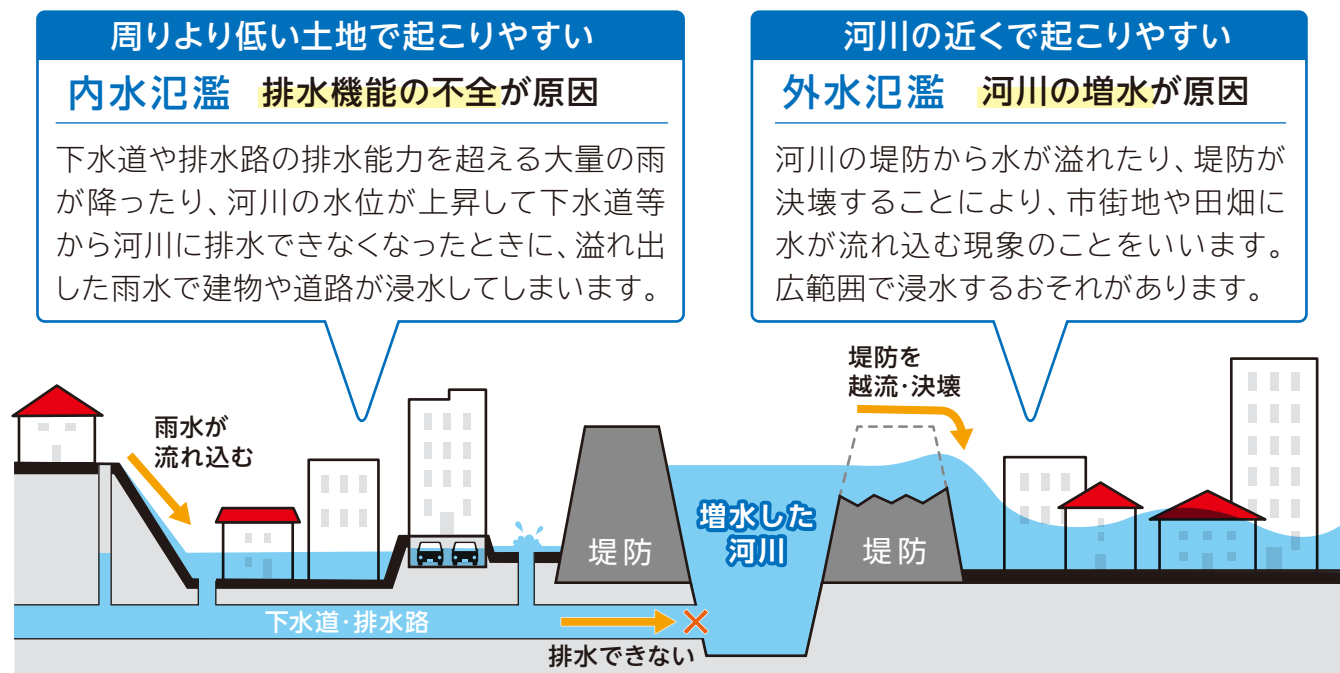


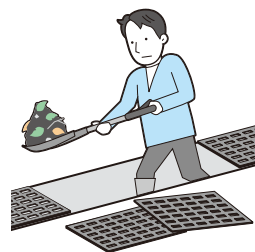
内水氾濫・外水氾濫

- ❗ 内水氾濫は河川から離れていても発生する
- ❗ 外水氾濫は住宅の倒壊・流出などの被害を起こす

内水氾濫・外水氾濫の違いと特徴



事前にやってほしいこと



雨水ますや側溝の手入れ
雨水がスムーズに排水されるよう、普段からこまめにゴミや落ち葉を取りのぞきましょう。



避難経路の確認
冠水するおそれのある道路やアンダーパスは、「洪水・土砂災害マップ」で確認しておきましょう。

水害による被害を減らすために

緊急時に「土のう」の支給

大雨等による住宅等への浸水防止手段として、「土のう10袋程度」を支給しています。



必要な方は、市役所に相談してから取りに来てください。

詳しい内容については、市のホームページを確認してください

風水害時の「車両退避場所」

車両を水没等の被害から守るため、市施設や民間の駐車場等を「車両退避場所」として開放します。災害時の利用については、受け入れ準備が整い次第、小山市安全安心情報メール、小山市ホームページ、小山市防災ポータルなどで周知します。

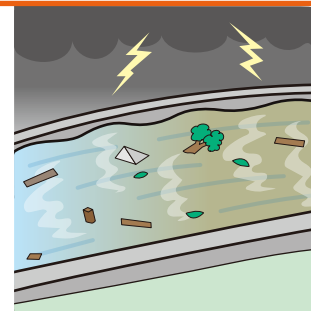
河川水位と警戒レベル

- ❗ 河川の水位に応じた氾濫危険度レベルを理解する
- ❗ 局地的集中豪雨(いわゆるゲリラ豪雨)による河川の急な増水は特に注意が必要

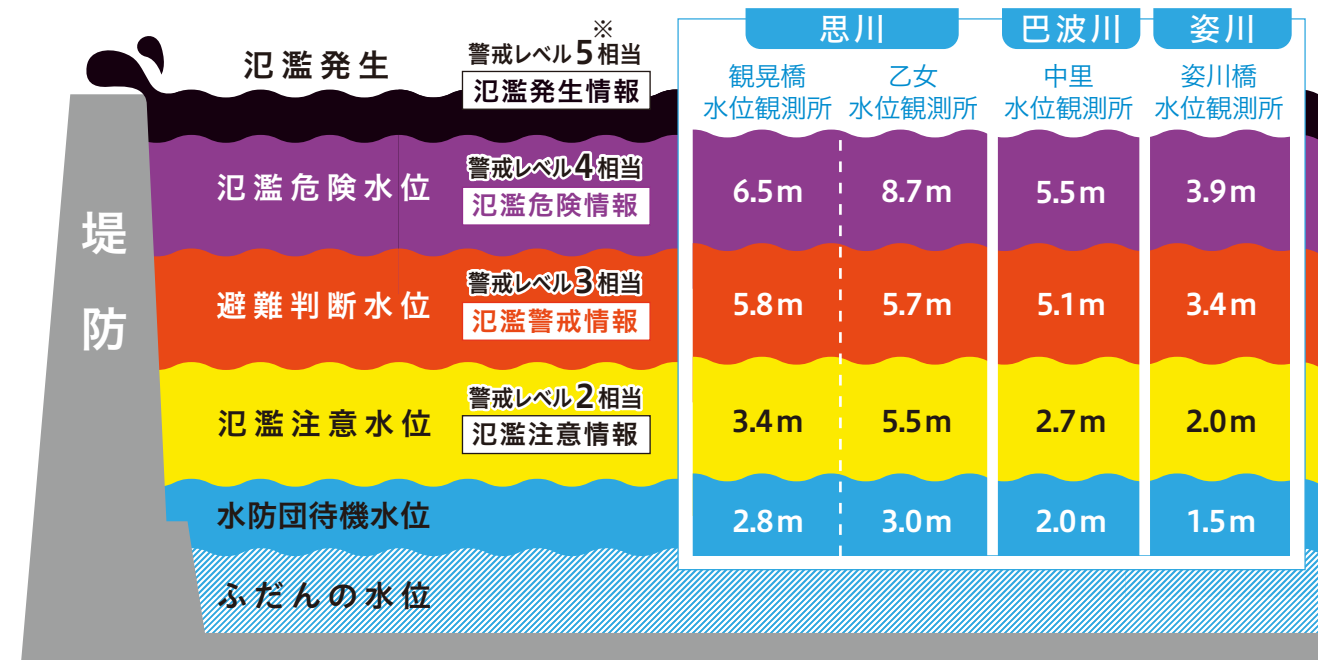
河川敷にいる場合

こんなときは
すぐに
川から離れて

- 大雨注意報、警報が発表されたとき
- 川の上流の空に黒い雲、積乱雲が見えたとき
- 空が急に暗くなり、雷の音や光が見えたとき
- 急に水かさが増え、川の水がにごってきたとき
- 急に落ち葉や流木、ゴミなどが流れてきたとき



洪水情報が提供される河川の水位



※警戒レベルについては P19、20

河川の水位等の情報をしらべる

気象庁 指定河川洪水予報 検索

小山市の指定河川洪水予報を確認できます。



国土交通省 川の防災情報 検索

小山市の川の水位やカメラで河川の様子を確認できます。



とちぎリアルタイム雨量・河川水位観測情報 検索

栃木県内各地に設置した観測局で観測された河川水位・雨量を確認できます。



☎ 電話で県管理の河川水位と雨量情報を確認する
24時間常に1時間毎の河川水位・雨量情報を聞くことができます。通話料金は利用者負担となります。

028-623-5754, 5764, 5765 ダイヤル後1をプッシュ

土砂災害

❗ 土砂災害は大雨や地震によって突然に起こる

❗ 前兆現象に注意し、危険を感じたら避難情報が出ていなくてもすぐに避難

土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害は、「がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)」「土石流」「地すべり」の3つに分類されます。
なお、小山市内には「土石流」「地すべり」の指定区域はありません。



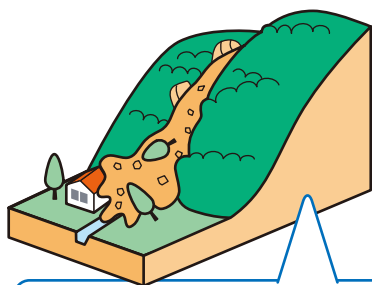
がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

急な斜面が、大雨や地震などにより突然崩れ落ちる現象です。

前兆現象

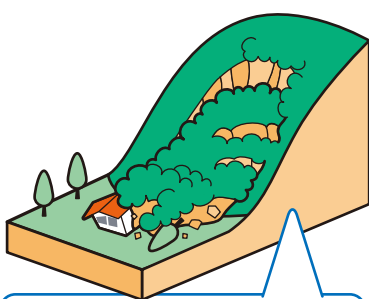
このような現象がある場合は
すぐに避難してください

- ☐ がけに割れ目が見える
- ☐ 水がわき出ている
- ☐ 小石がパラパラ落ちてくる
- ☐ 木の根が切れる等の音がする



土石流

山腹や川底の石や土砂が、大雨などにより一気に押し流される現象です。

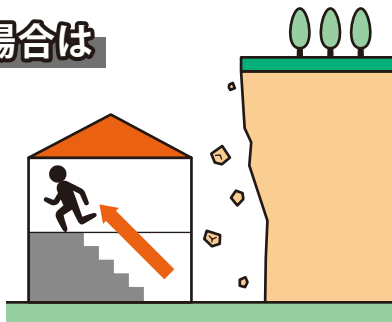


地すべり

ゆるやかな斜面が、広い範囲にわたりゆっくりとすべり落ちる現象です。

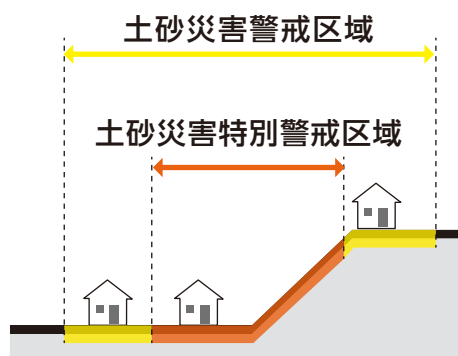
避難することが難しい場合は

避難所へ行くことが困難な場合は、無理をせず近くの頑丈な建物の2階以上に避難、もしくは自宅上階などのがけから離れた部屋へ避難して安全を確保しましょう。



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

栃木県では、土砂災害から皆さまの生命を守るため、危険箇所内の重要性の高い箇所について、土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の指定を進めています。



土砂災害警戒区域

通称:イエローゾーン

土砂災害が発生したときに被害等を受けるおそれのある区域です。土砂災害の危険性の周知や避難体制の整備が図られます。

土砂災害特別警戒区域

通称:レッドゾーン

土砂災害が発生したときにより大きな被害等を受けるおそれのある区域です。開発行為の制限や新築・増改築の際の構造規制等が行われます。

コラム

発達した積乱雲に注意!

夏によく見られる積乱雲(入道雲・かなとこ雲・かみなり雲)は局地的な大雨だけでなく、ひょうや雷、激しい突風(ダウンバースト、ガスフロント)、竜巻等をもたらして災害の原因になることがあります。



積乱雲が接近しているサイン

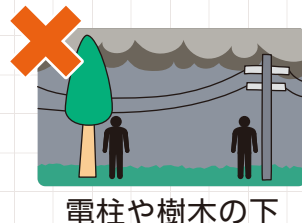


天気予報等で「大気の状態が不安定」というワードがあれば要警戒!

- ☐ 真っ黒な雲が近づいてくる
- ☐ 雷の音が聞こえてくる
- ☐ あたりが急に暗くなる
- ☐ 冷たい風が吹いてくる
- ☐ 大粒の雨やひょうが降り出す



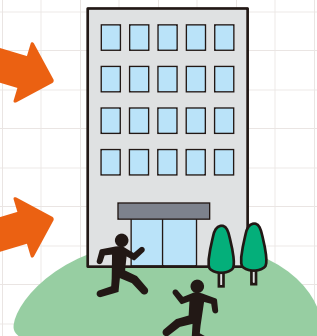
竜巻・雷からの身の守り方



電柱や樹木の下



田畑、グラウンドなど周囲の開けた場所



頑丈な建物の中へ避難

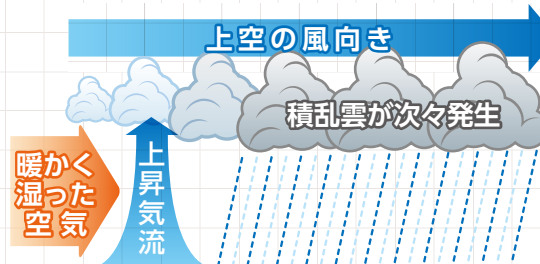
竜巻からの避難のポイント

- ☐ 自動車や物置・プレハブへ避難しない
- ☐ 安全な場所への避難が困難な場合は頑丈な建物のそばにうずくまったり、側溝等のくぼみにふせる

雷からの避難のポイント

- ☐ 屋根のある自動車への避難は有効
- ☐ 屋内では家電製品や窓・壁から離れる
- ☐ 安全な場所への避難が困難な場合は耳をふさぎ、足を閉じてしゃがむ

線状降水帯に注意



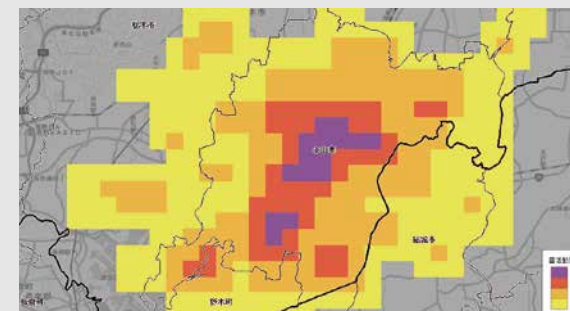
線状降水帯とは、発達した積乱雲が連続して発生し、ほぼ同じ場所を通過もしくは停滞し続ける現象です。その結果、局地的な集中豪雨をもたらす、災害を引き起こす原因となります。

気象庁の情報サイト

ナウキャスト 気象庁 検索

気象状況をリアルタイムで確認できます。

雨雲の動き 雷の活動度 竜巻発生確度

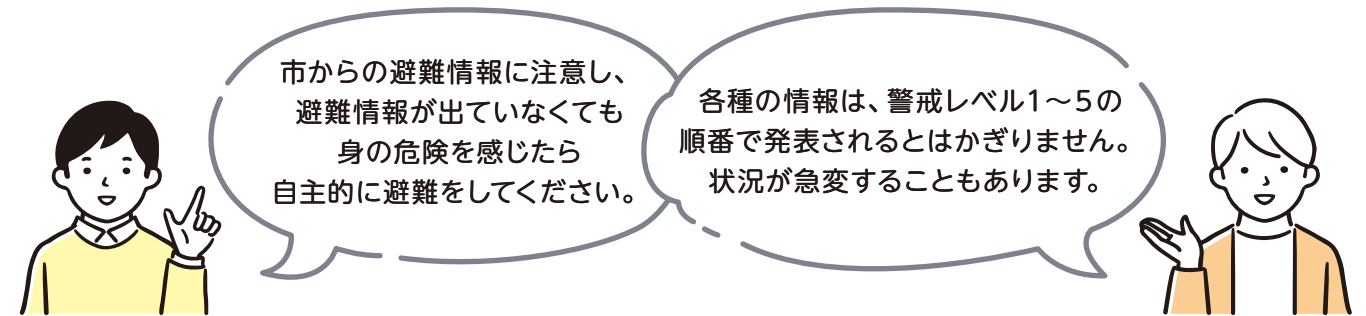




警戒レベル

！警戒レベルと避難情報等について理解する

！警戒レベル4までにはかならず避難する



警戒レベルと取るべき行動

警戒レベル	状況	取るべき行動	小山市が発令 避難情報等	気象庁が発表 防災気象情報	河川管理者(国・県)と気象庁が発表 指定河川洪水予報	気象庁が発表 キキクル危険度	
高 5	 災害の発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1	大雨特別警報	氾濫発生情報	災害切迫	警戒レベル 5 相当
警戒レベル4までにはかならず避難！！							
4	 災害の おそれ高い	危険な 場所から 全員避難	避難指示※2	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	危険	警戒レベル 4 相当
3	 災害の おそれあり	危険な 場所から 高齢者等※ 避難	高齢者等避難※3	洪水警報 大雨警報	氾濫警戒情報	警戒	警戒レベル 3 相当
2	 気象状況悪化	避難に備え、ハザードマップなどで 避難行動を確認	—	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報	注意	警戒レベル 2 相当
低 1	 今後気象状況 悪化のおそれ	最新の気象情報に注意するなど 災害への心構えを高める	—	早期注意情報	市内を流れる河川の 水位と洪水予報は P16	キキクル(警報の危険度分布) 大雨や洪水による災害の危険が、どこで、 どのレベルで迫っているかを、地図上で 視覚的に知ることができます。 キキクル 気象庁 検索	

※1 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

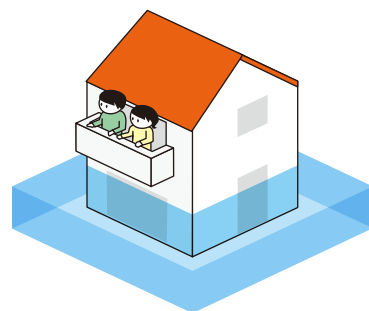
※2 令和3年5月の法改正により「避難勧告」は廃止され、「避難指示」に一本化されました。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危機を感じたら自主的に避難するタイミングです。

緊急安全確保とは～命を守る最低限の行動～

警戒レベル5「緊急安全確保」とは、すでに災害が発生しているか、切迫していて命が危険な状態です。

自宅の2階以上やがけと反対側の部屋、もしくは移動できる範囲の頑丈で高い建物に移動し、身の安全を確保してください。



特別警報とは

特別警報とは、警報の発表基準をはるかに超える大雨が予想され、重大な災害の起こるおそれが高まっていることから最大級の警戒を呼びかけるものです。

直ちに市からの避難情報を確認し、適切な行動をとってください。



作ってみよう！マイ・タイムライン

台風や大雨時における一人ひとりの避難行動の計画をたてましょう

台風や大雨により河川の水位が上昇するときに、一人ひとり「いつ」「何をするのか」といった計画をたてておくことで、いざというときにあわてずに適切な避難行動につなげることができます。

洪水・土砂災害（風水害）発生時のタイムライン

警戒レベル・状況	警戒レベル1 今後気象状況悪化のおそれ	警戒レベル2 気象状況悪化	警戒レベル3 災害のおそれあり	警戒レベル4 災害のおそれ高い	警戒レベル5 災害発生または切迫
避難情報	市が発令		高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
気象情報	気象庁が発表	大雨・洪水注意報 強風注意報 氾濫注意情報	大雨・洪水警報	土砂災害警戒情報 暴風警報 氾濫危険情報	大雨特別警報 氾濫発生情報
取るべき行動	災害への心構えを高める 台風情報 □ 情報を収集する P5	自らの避難行動を確認 □ 避難先・経路の確認 P25～54 □ 非常持出袋を用意 P3	危険な場所から 高齢者等 は避難 □ 高齢者等以外の方も危険を感じたら自主的に避難	危険な場所から 全員避難 □ 安全な避難先へ移動	命の危険 直ちに安全確保！ □ 避難できていない場合は、安全を確保できる場所や、建物の2階以上へ移動
あなたの行動	風雨が強くなる前の時期	避難行動を開始する時期	身の安全を確保する時期		
					避難する場所

作成例 洪水・土砂災害マップを確認したら、自宅が浸水する危険があったことが分かった
川の近くに住む 小山さん一家のタイムライン

小山さん一家
私(夫) 妻 子 母
市内に勤務 持病あり

姉一家が隣の地区の高台に住んでいる

母達は早めに避難するので「大雨・洪水注意報」などが発表された段階で準備開始

妻、子、母は避難準備を開始

妻、子、母は避難開始

避難完了

避難する場所
妻・子・母は姉の家
私は指定避難所

万一逃げ遅れた場合
自宅2階の子ども部屋で安全を確保する

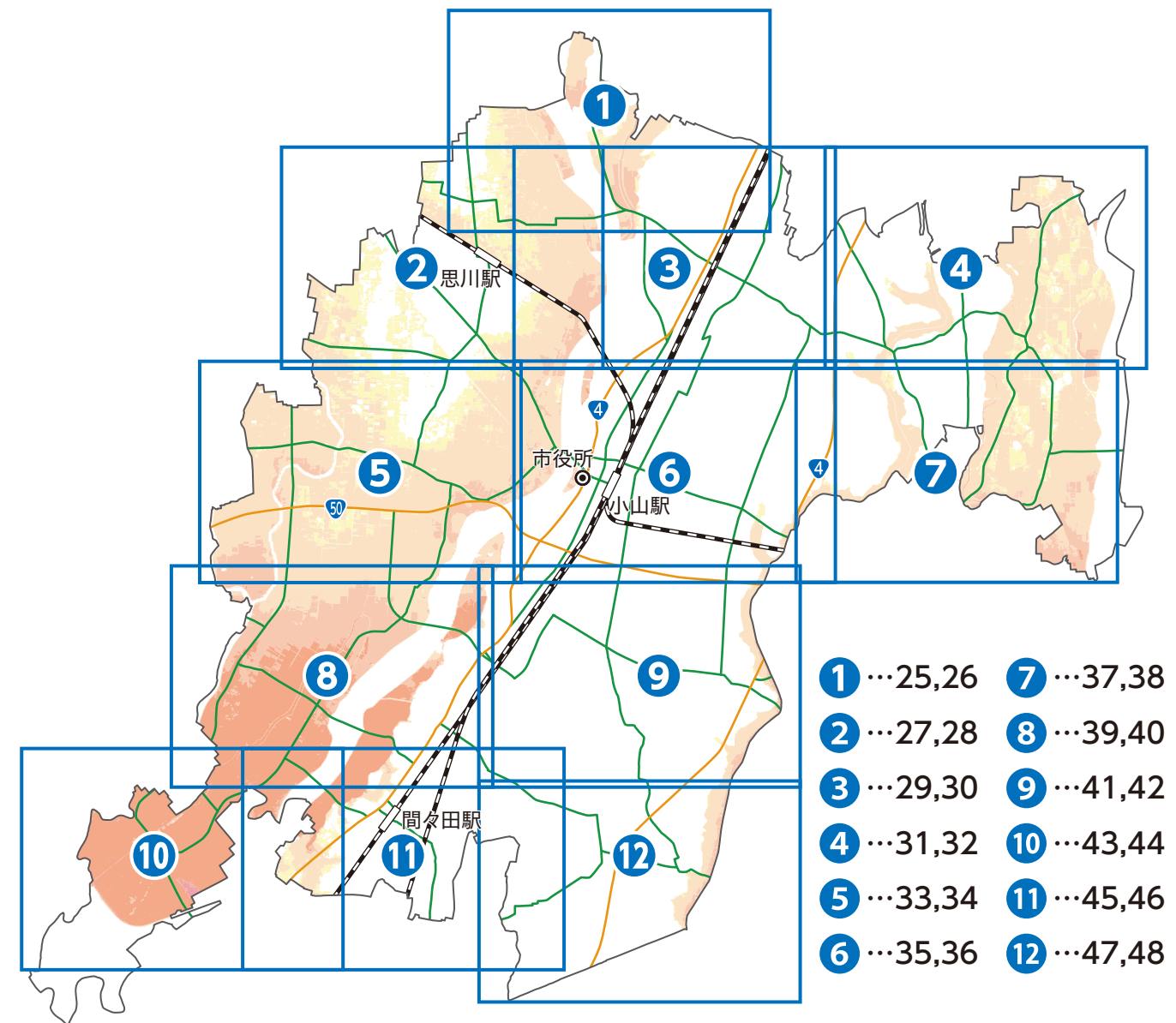
避難する時のポイント

洪水・土砂災害マップ区割図

❗ 指定避難所へ行くことだけが避難ではない、状況に応じた避難を心がける

❗ 在宅避難の備えや、避難所生活のルールを確認する

状況に応じた分散避難

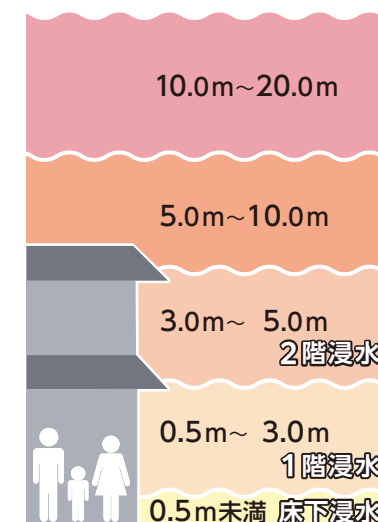


マップで確認

自宅や自宅周辺は以下の色や柄で塗られていないか確認しましょう

想定浸水深

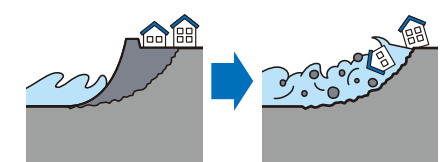
想定される浸水範囲と浸水深さ



家屋倒壊等氾濫想定区域（早期の立ち退き避難が必要な区域）

河岸侵食

洪水時の河川の激しい流れによって、河岸の地盤が削られて崩落し、家屋が倒壊または流出するおそれのある区域です。



氾濫流

河川堤防の決壊などによって氾濫した水流が、木造家屋を倒壊または流出させるおそれのある区域です。



土砂災害(特別)警戒区域 P17

土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

在宅避難する場合
普段から災害に備えて備蓄する

ライフラインの代替を備える

- 懐中電灯、電池、ポータブル電源、カセットコンロ
- 飲料水や生活用水
- 簡易トイレ、トイレ処理セット

日ごろから食料や日用品衛生品の備蓄を

- 普段からローリングストックを行い、災害時は備蓄品として使用する P4

少しでも危険を感じたら、他の場所へ避難する！

避難所で生活する場合
ルールを守りお互い協力して過ごす

共同生活のマナーとルールを守る

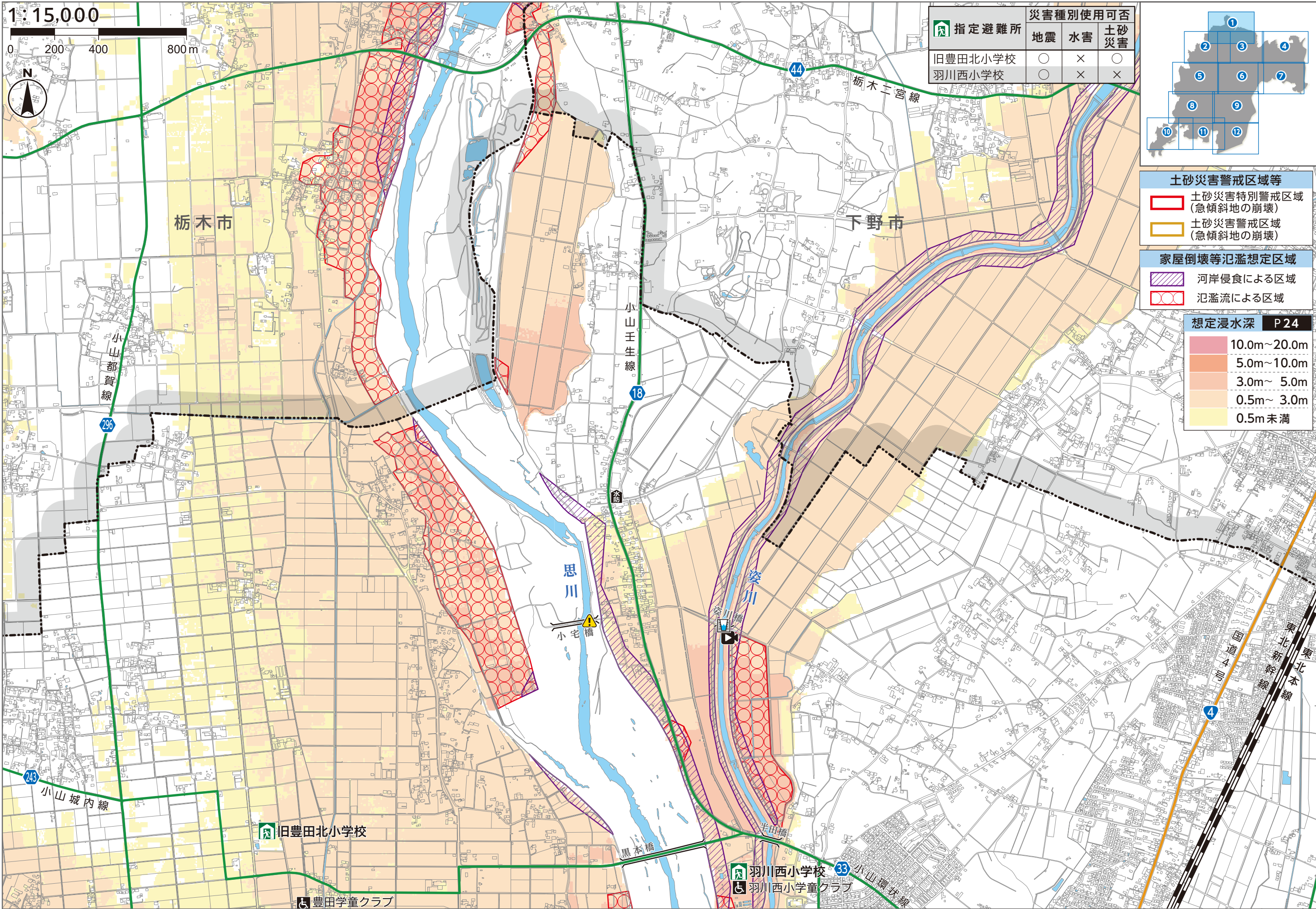
- お互いのプライバシーに配慮する
- 妊婦や子供に対し、思いやりをもって接する

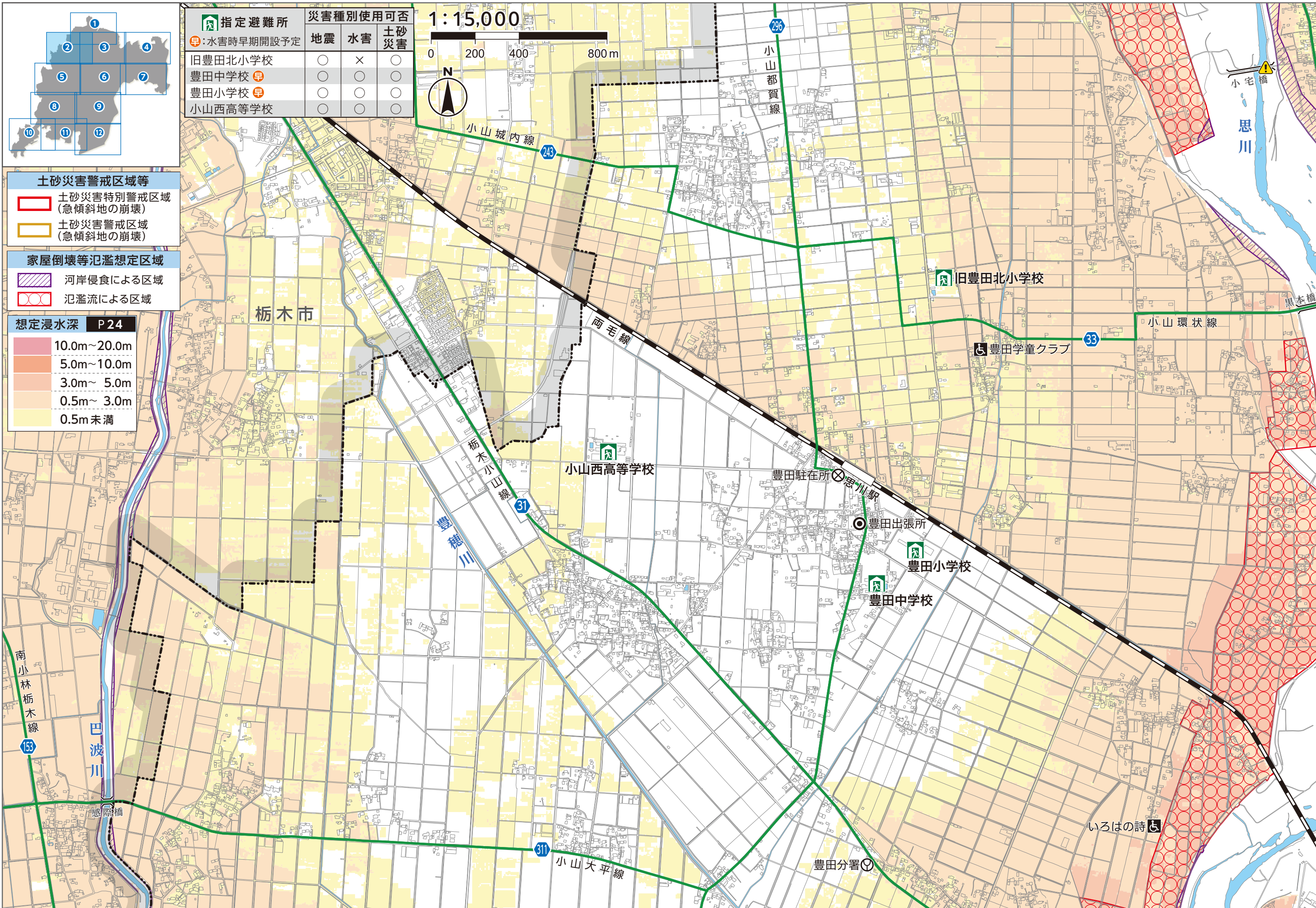
衛生面に配慮する

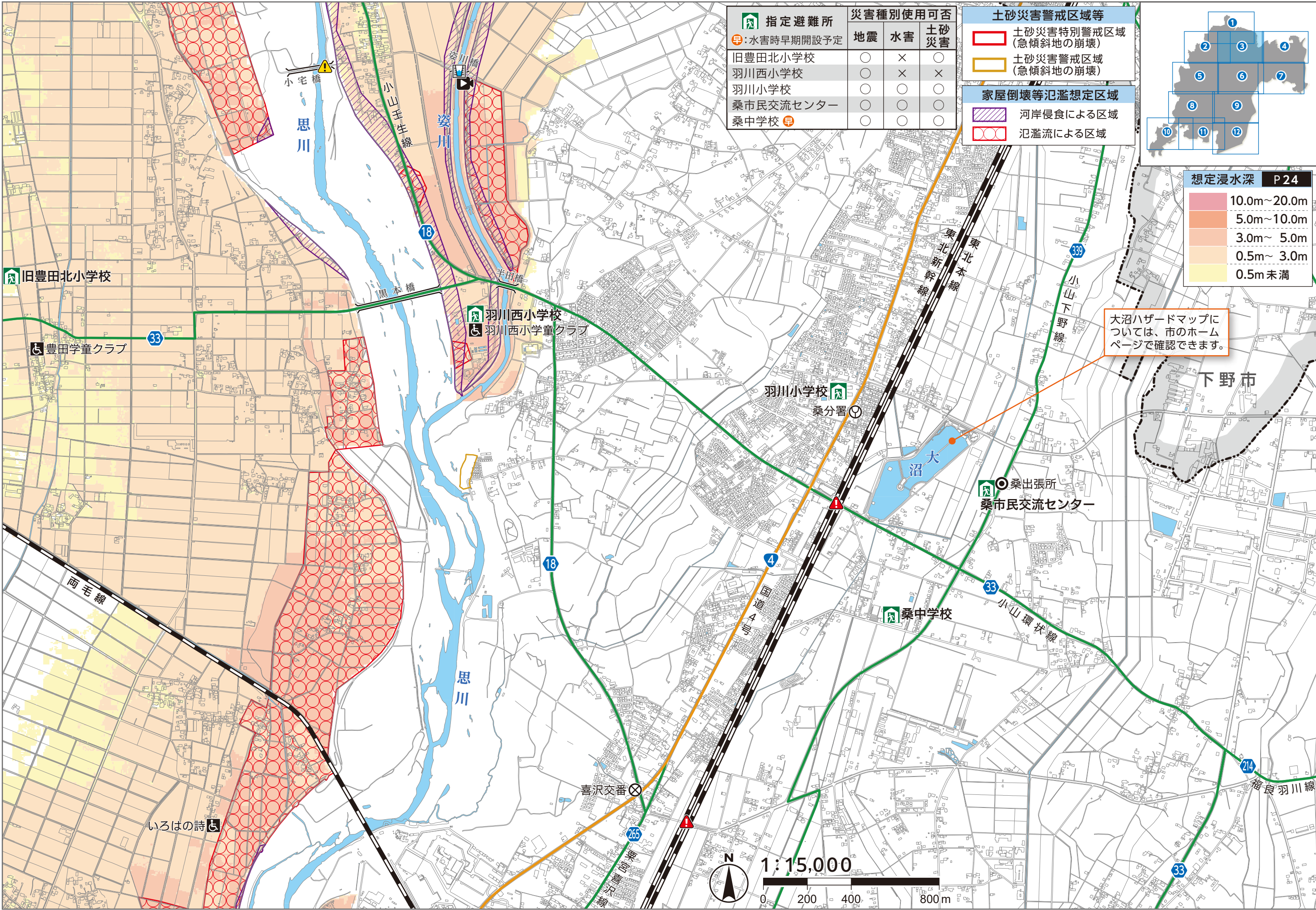
- こまめな清掃や、ゴミの適切な処理を心がける
- トイレはきれいに使う
- 感染予防のため、衛生管理を行う

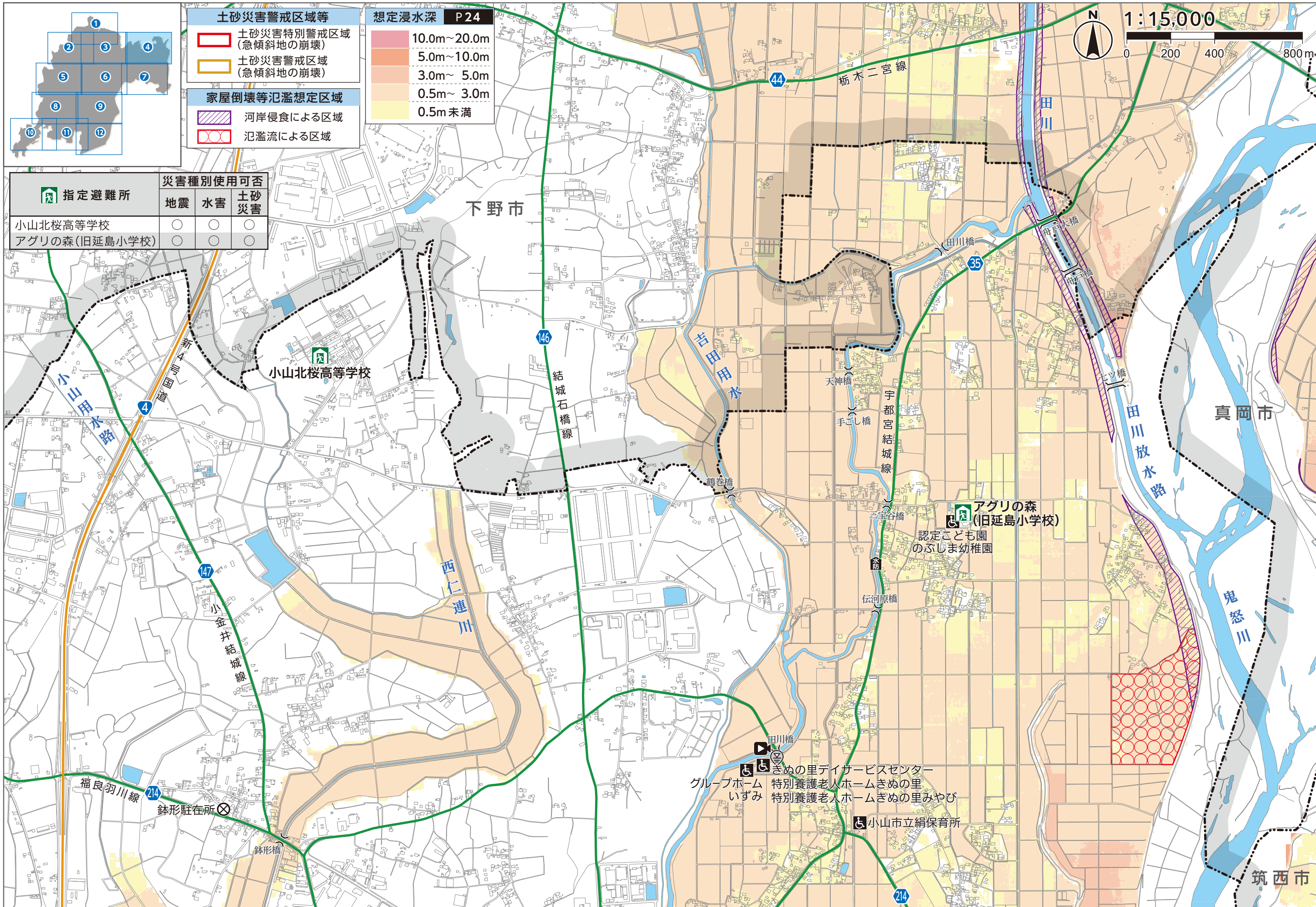
ペットと避難する場合は…

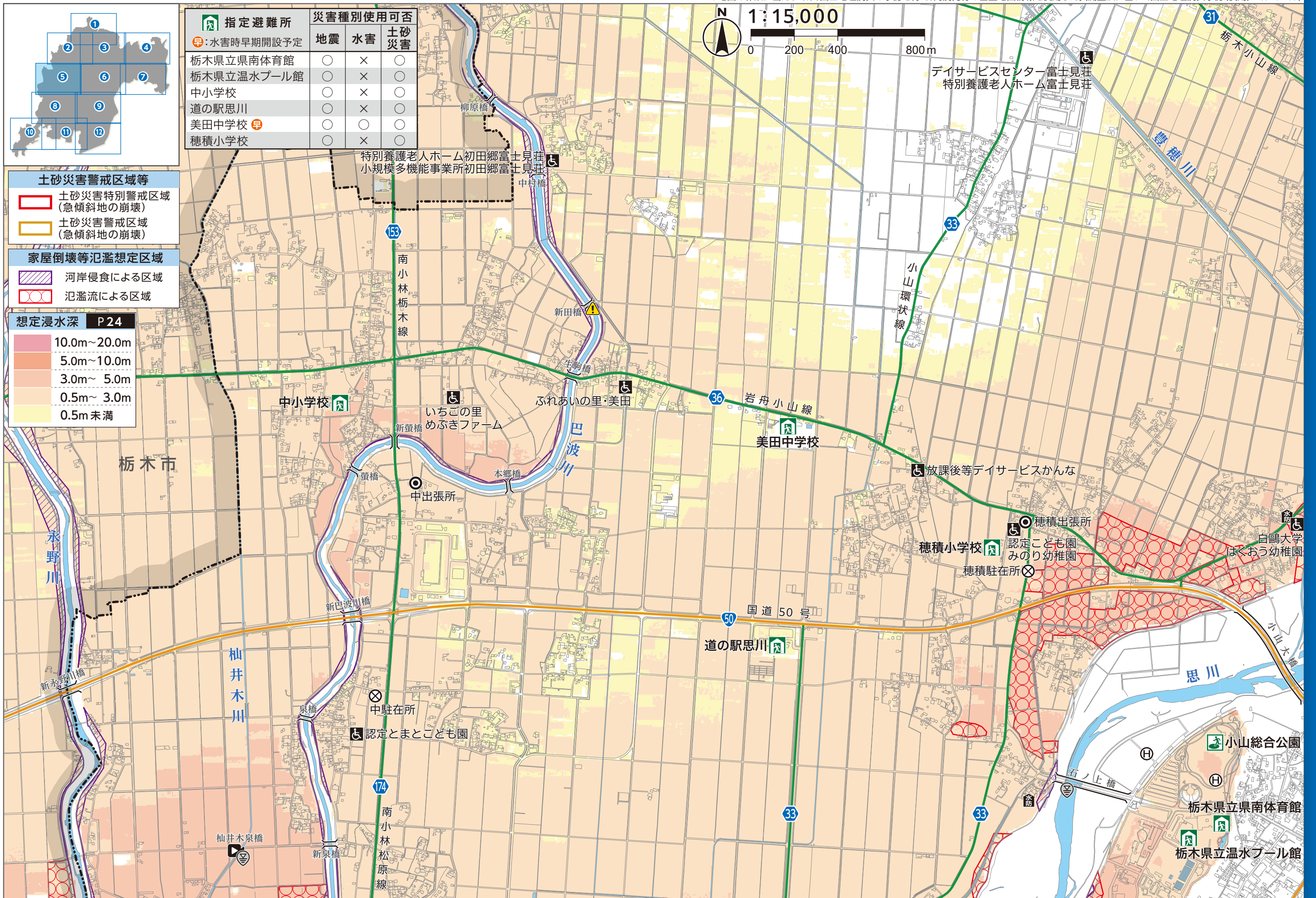
- 🐾 避難所には、ペット（犬や猫等の小動物のみ）を連れて避難することができます。
- 🐾 アレルギーの方や、鳴き声が気になるなど衛生管理上、人と同じ空間で過ごすことはできません。
- 🐾 決められた場所で飼育することになりますので、必ずケージ等の準備をお願いします。
- 🐾 避難所にはペット用品は備蓄していませんので、飼い主が持参してください。

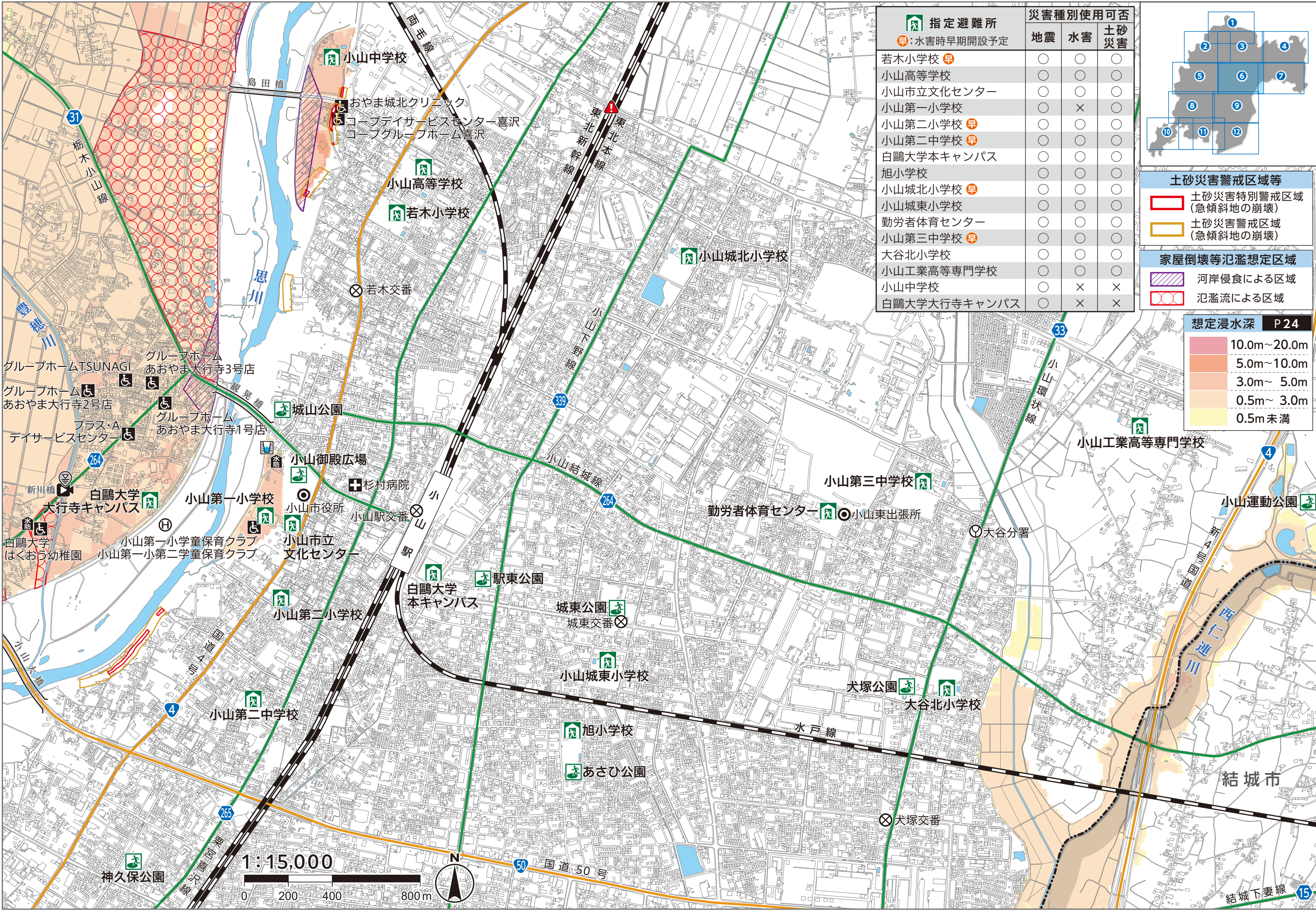


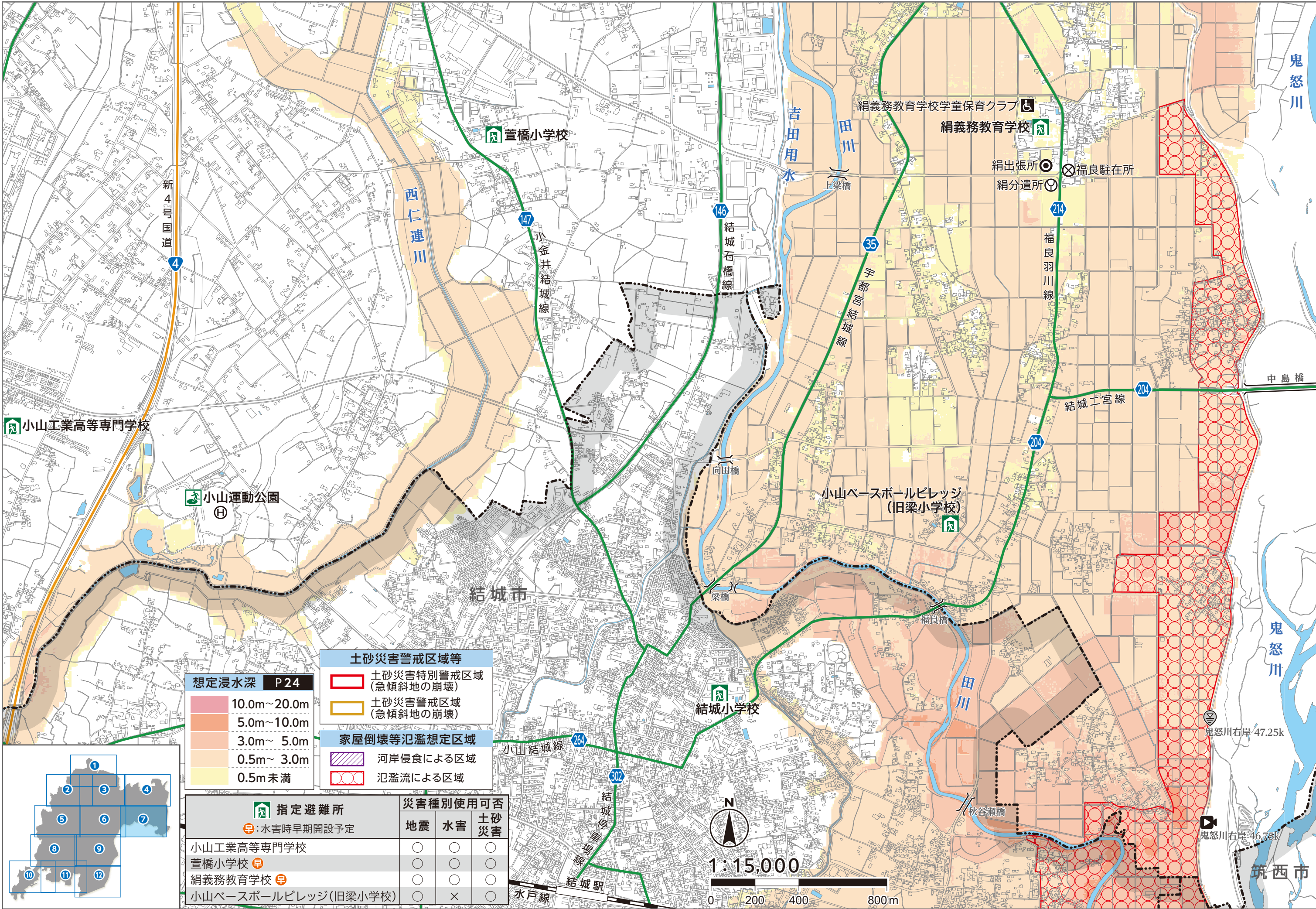


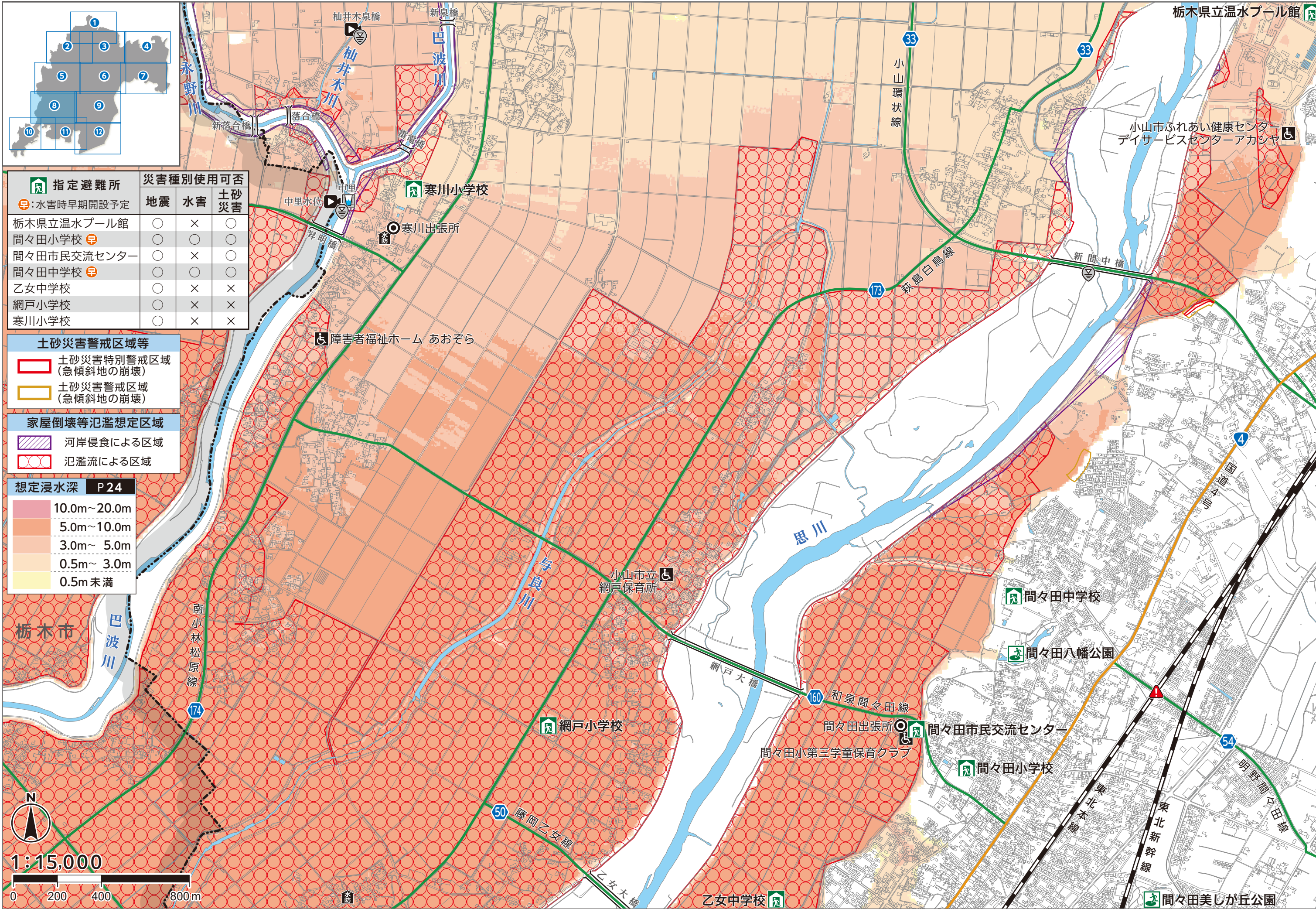


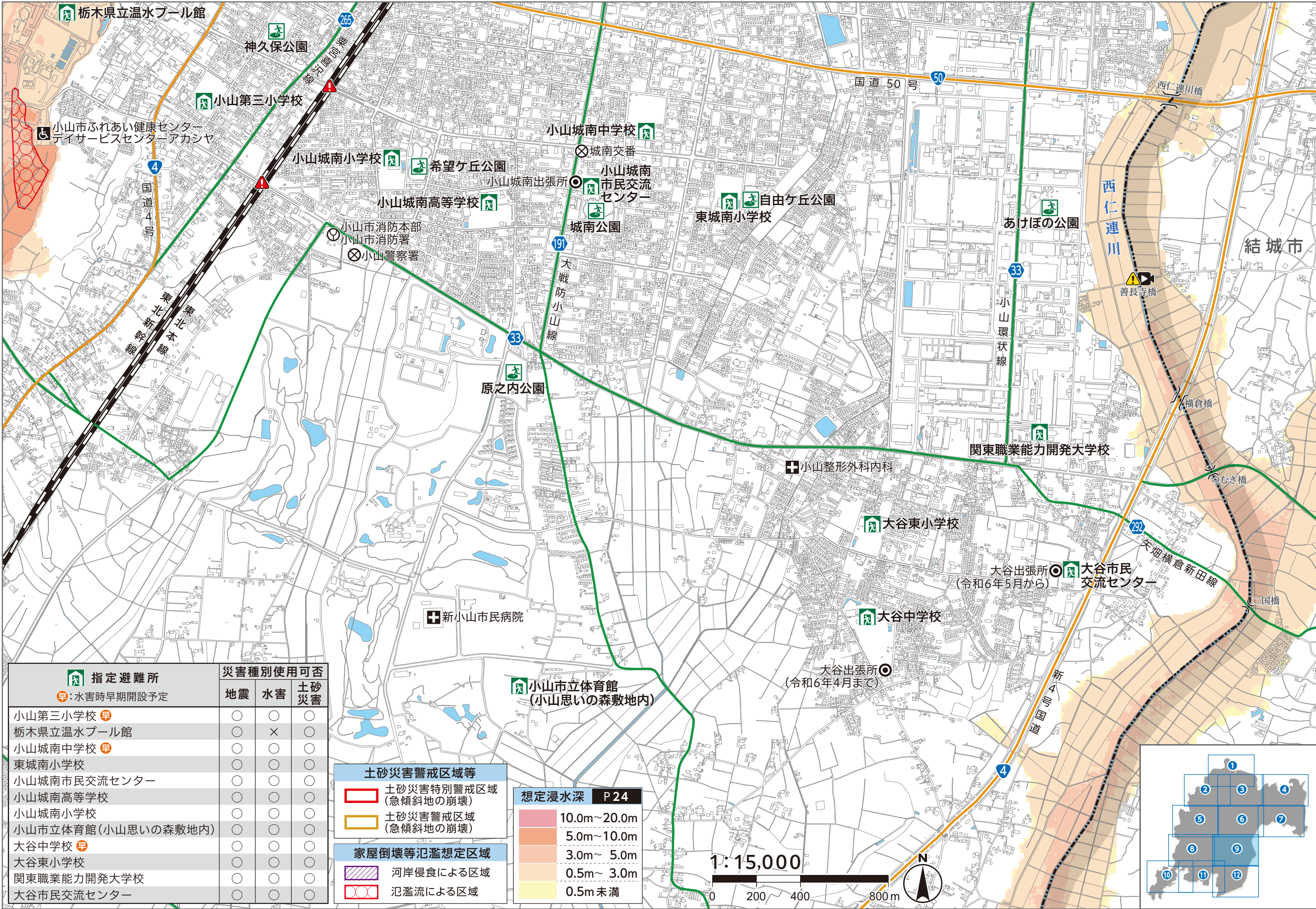


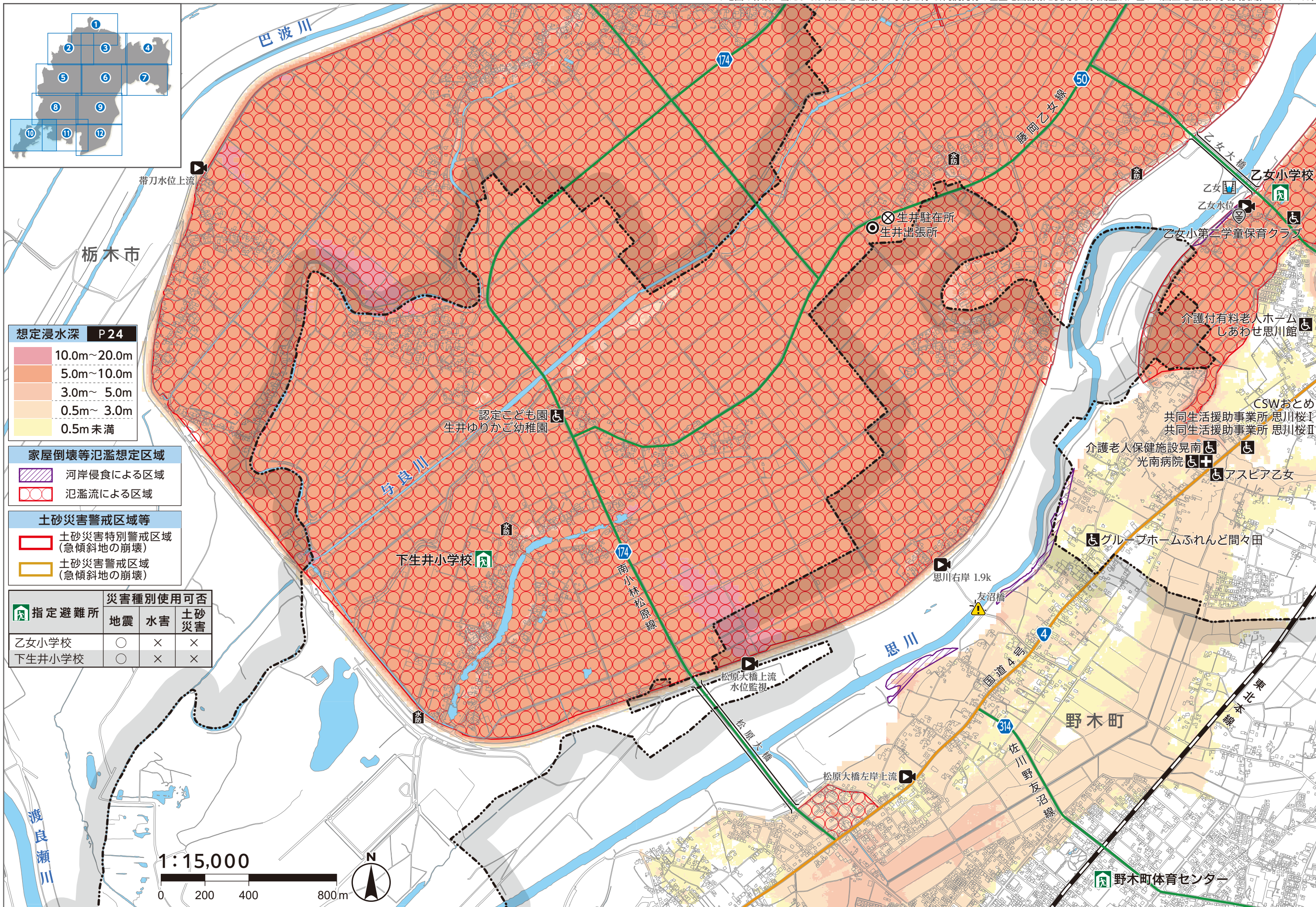


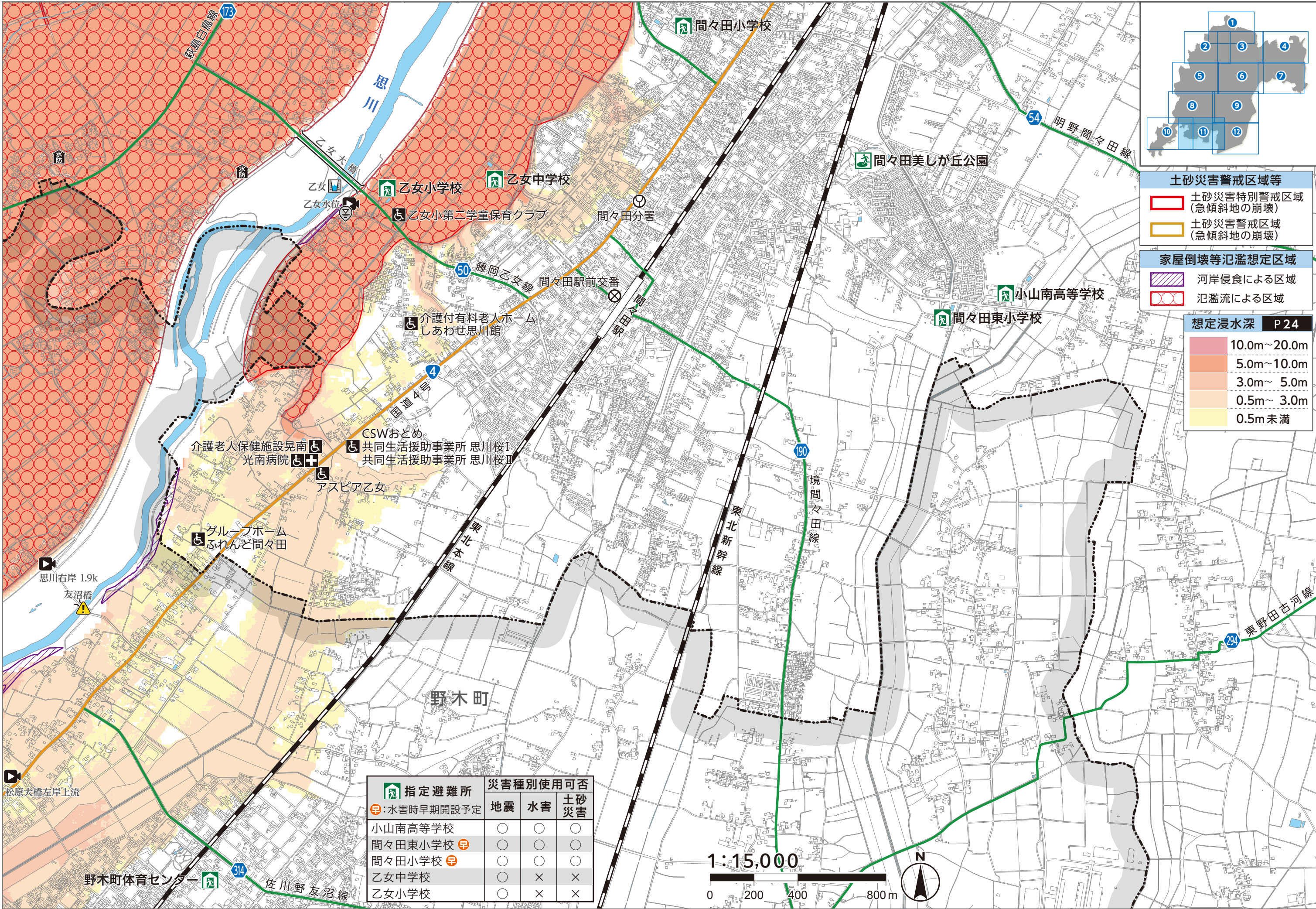


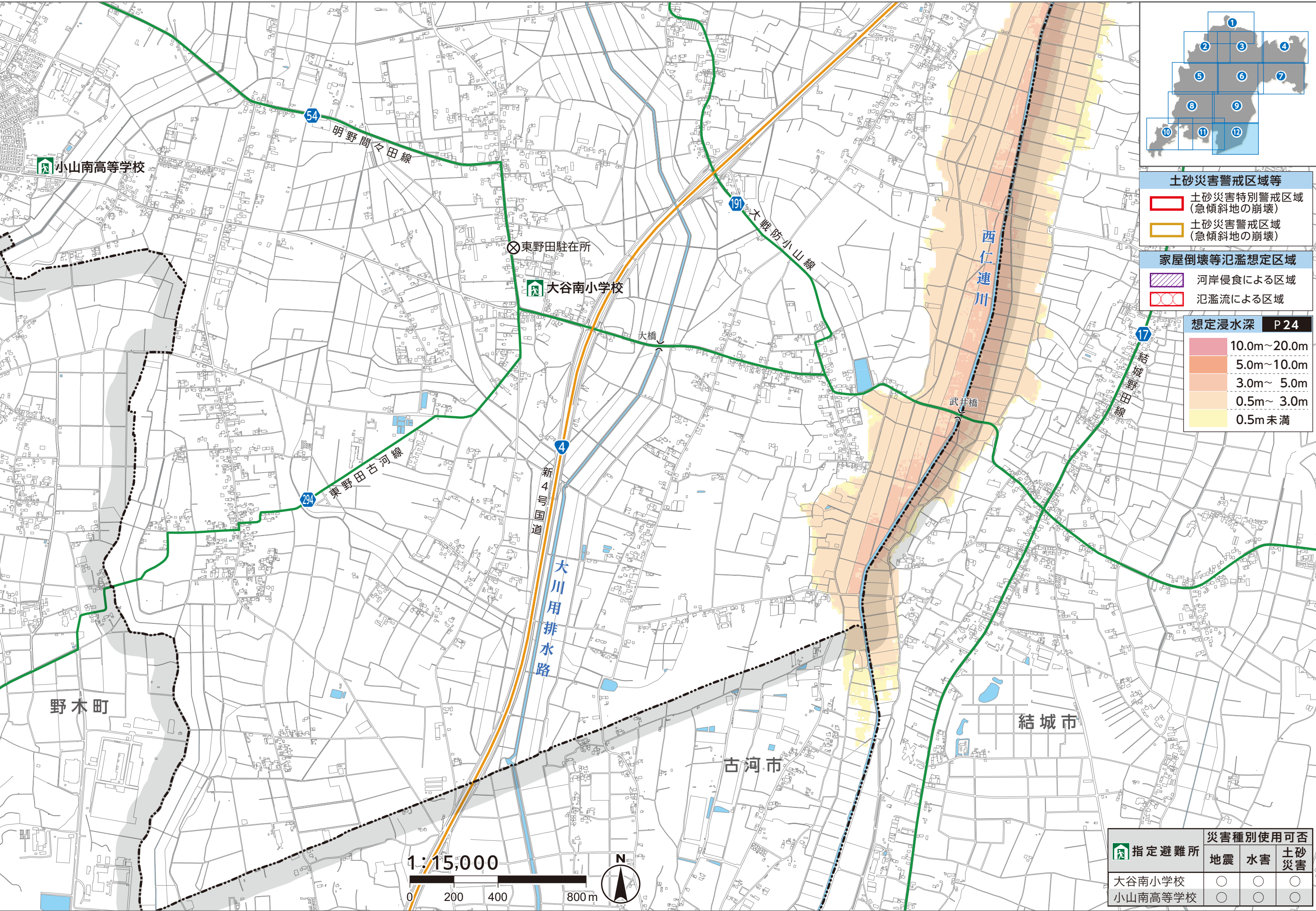












市全体の浸水想定区域マップ

浸水想定区域

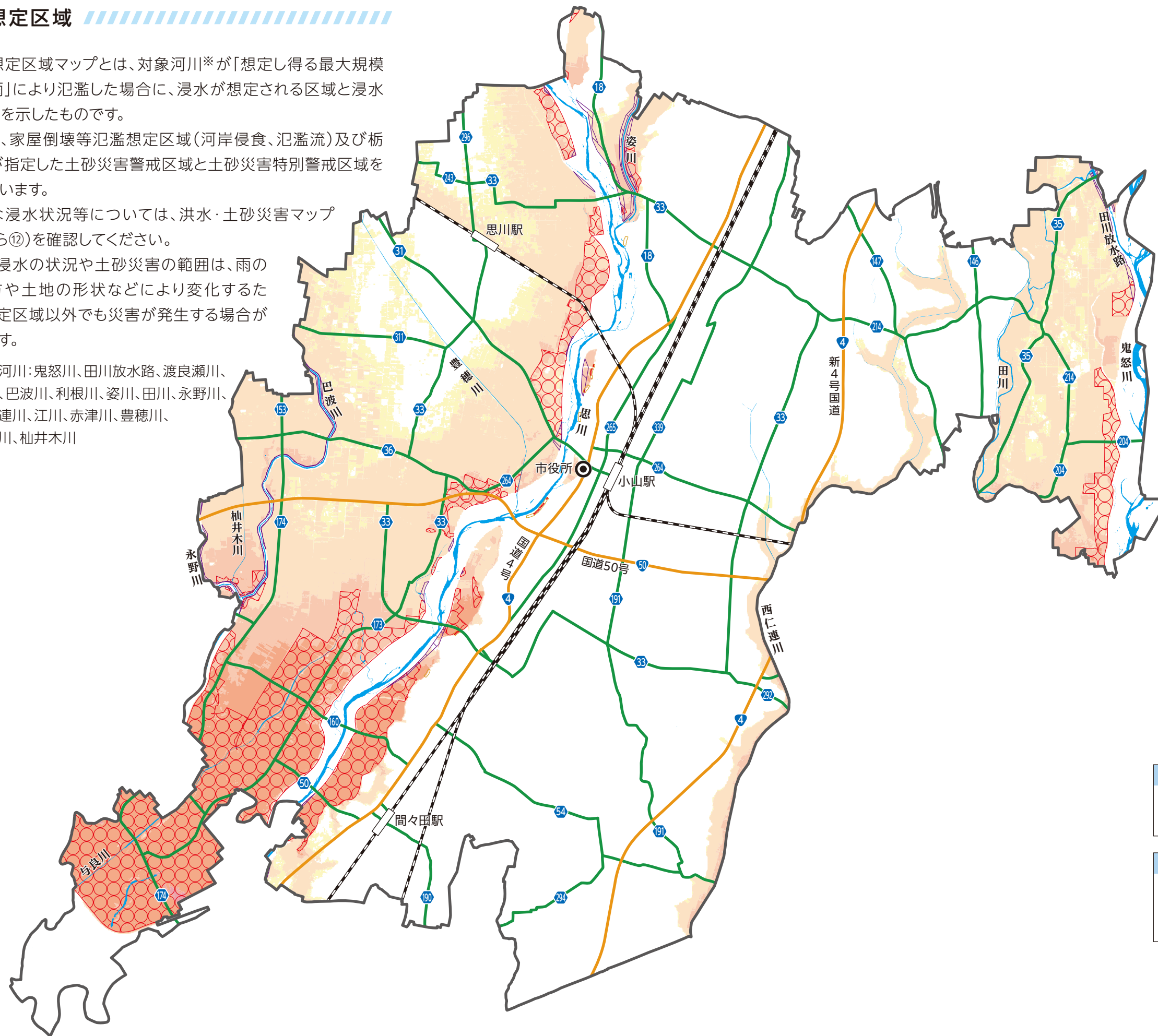
浸水想定区域マップとは、対象河川※が「想定し得る最大規模の降雨」により氾濫した場合に、浸水が想定される区域と浸水の深さを示したものです。

加えて、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食、氾濫流）及び栃木県が指定した土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域を示しています。

詳細な浸水状況等については、洪水・土砂災害マップ（①から⑫）を確認してください。

なお、浸水の状況や土砂災害の範囲は、雨の降り方や土地の形状などにより変化するため、想定区域以外でも災害が発生する場合があります。

※対象河川：鬼怒川、田川放水路、渡良瀬川、思川、巴波川、利根川、姿川、田川、永野川、西仁連川、江川、赤津川、豊穂川、与良川、杣井木川



想定浸水深	P 24
10.0m~20.0m	
5.0m~10.0m	
3.0m~ 5.0m	
0.5m~ 3.0m	
0.5m未満	

家屋倒壊等氾濫想定区域
河岸侵食による区域
氾濫流による区域

土砂災害警戒区域等
土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

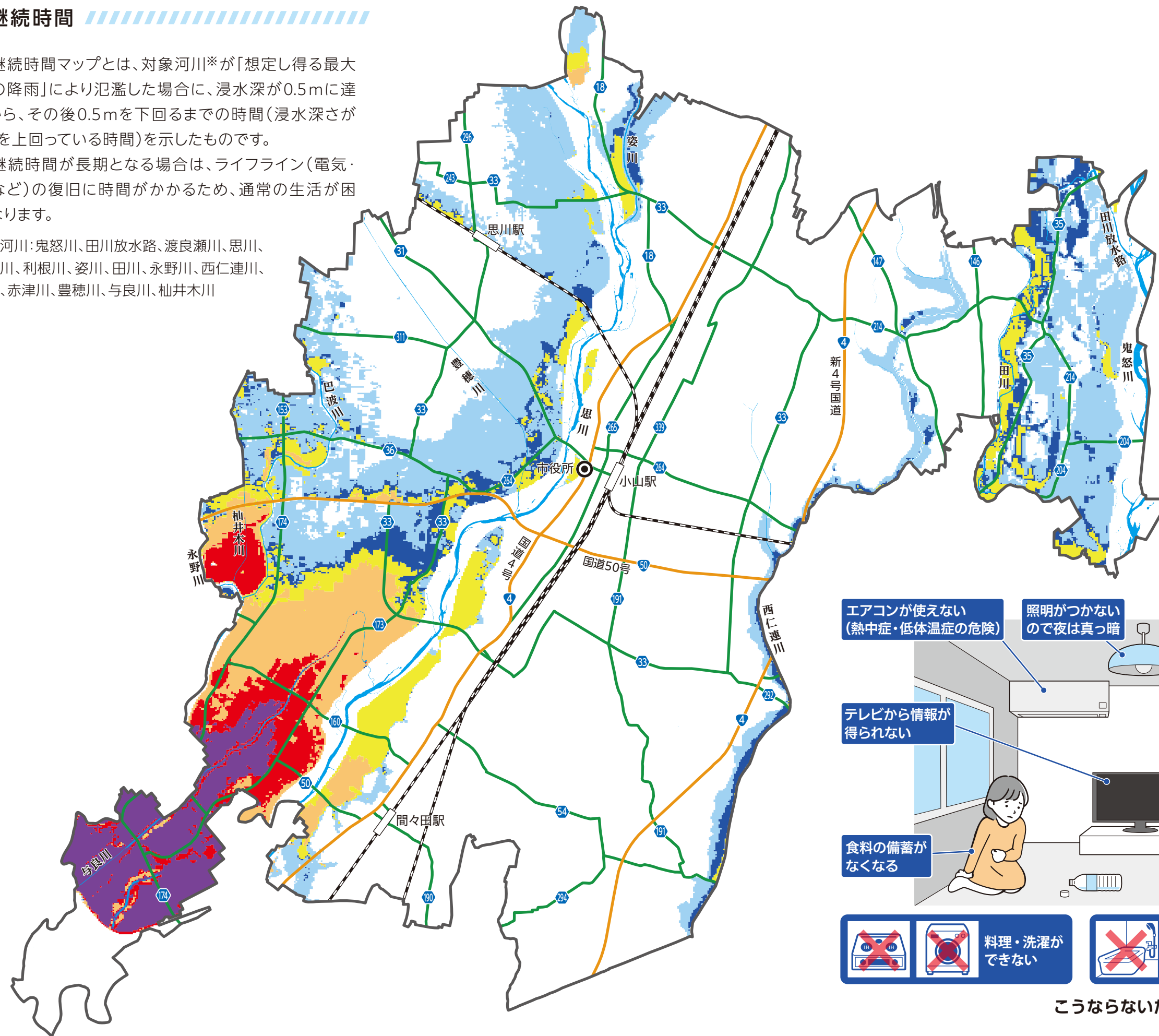
市全体の浸水継続時間マップ

浸水継続時間

浸水継続時間マップとは、対象河川※が「想定し得る最大規模の降雨」により氾濫した場合に、浸水深が0.5mに達してから、その後0.5mを下回るまでの時間（浸水深さが0.5mを上回っている時間）を示したものです。

浸水継続時間が長期となる場合は、ライフライン（電気・水道など）の復旧に時間がかかるため、通常の生活が困難になります。

※対象河川：鬼怒川、田川放水路、渡良瀬川、思川、巴波川、利根川、姿川、田川、永野川、西仁連川、江川、赤津川、豊穂川、与良川、杣井木川

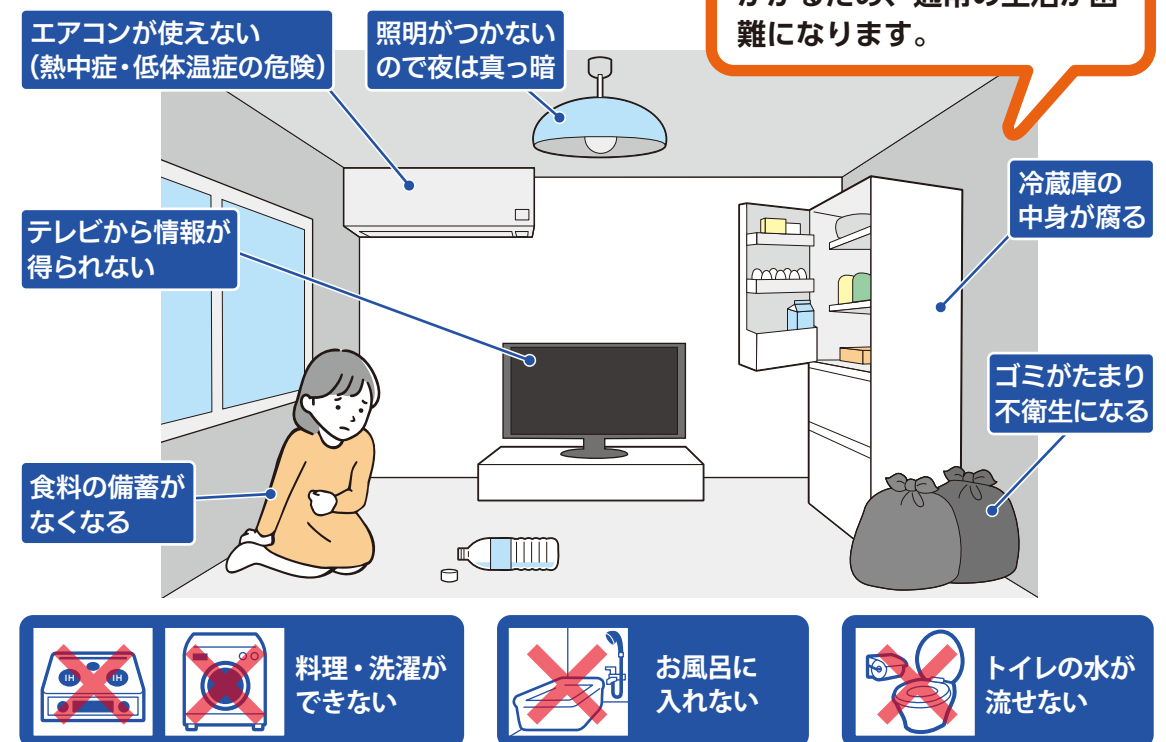


浸水継続時間	
	2週間以上 4週間未満
	1週間以上 2週間未満
	3日以上 1週間未満
	1日以上 3日未満
	12時間以上 1日未満
	12時間未満

	国道
	県道

自宅にとどまる場合

浸水継続時間が長期になると、ライフラインの復旧に時間がかかるため、通常の生活が困難になります。



こうならないためにも、非常時の備えを P3、4